

寒冷地形談話会通信

1983年度 第6号
1984. 2. 21 発行

12月の例会の報告 (1983. 12. 17 東大1=2)

①小崎 尚 (明大)・岡沢 修一 (千葉英和高): 後立山連峰,
朝日岳のプロヴェンエーレン

②平川 一臣 (山梨大): 化石同米河現象による北海道東部の
古環境復元: 連続的永久凍土帯か? 連続的永久凍土帯か?

③小野 有五 (筑波大): エンスーレ・プロヴェンエーレンにおける現在と最終
氷期の雪線高度の推定

(要旨)

① 朝日岳北面にある池をたまためた小さなフィールド内のエレーン
中の泥炭と木片から、10,000 y. B.P. よりも新しい地年代が得られ
た。日本では、10,000 y. B.P. より新しいエレーンα地年代はほ
とんどなく、完新世の水河作用を裏づける点で重要といえる。

年代が得られたエレーン (標高2,150m) は、朝日岳頂上北东
700m の池のあるフィールド内であり、砂礫層中に十数枚の泥炭が
挟在し、泥炭は押し出さうとした状態にある。このエレーンには泥
炭地に水が押し出されて作ったプロヴェンエーレンと考えられる。
地年代からこの時代は8,000 y. B.P. よりも新しく、完新世の水河
作用によることが明らかであるが、いつ頃かは不明である。こ
の点に関しては、5,000 y. B.P. 頃の寒冷期のものがある可能性や、
あるいは、花粉からすると古い時期のものがある可能性について

2の沖海が氷に覆われた。

② 十勝平野に今までのアイスウエッジと考えられていたものの多くは、実はそうではなく、十勝平野の広い範囲でアイスウエッジはできなかった。たとえば小崎ほか(1974)の十勝平野のものは、その形態からアイスウエッジとは認められず、大規模な乱れの構造はバルカの埋没形であると考えられる。

また、時期的にはEn-A(20,000y.B.P)頃か、とも考えられる。冬期間には気温がかなり低下していたと推定されるが、十勝平野には少くともアイスウエッジは連続的に発達してはいない、十勝平野の北西部が不連続的永久凍土帯の南限であると、たとえ考えられる。

③ カムチャッカ半島から台湾・ヒマラヤ南東部までの地域を含め、現在および最終氷期における雪線高度の復元が試みられた。

最終氷期の雪線高度は太平洋側の山地(南アルプス, 中央アルプス, 大雪山)と日本海側の山地(日高, 北アルプス)とでは異なるが、これは積雪量のちがいによる、と説明することはできる。

*) 発表のあと、恒例の入り道大仏(清水長正, 若田修三, 松岡忠知, 沢口晋一, 伊藤真人), 忘年会が開催された。

三月例会

3月17日(土) 夜、宿泊する旅館で行われます。

○ 清水長正 (明治大):

多磨川上流域における最終氷期の周氷河
地域の下限について。

○ 田村是雄 (学芸大)*

セリオンス 樹沢の 産錐地形と 植生分布

○ 渡辺 勝二 (筑波大)*

立山連峰 内蔵助カールの 高山環境の 分析。

* まだ はっきりと都合が確認できていませんので、当日
できいかも しません。そのときは また 別のプログラム
を 考へて 予定 します。

4月の予告

1) 地理学会 春季大会の際、4月5日 午後3時から
極地地形研究会として会場をとってします。
寒冷地形談話会の会合も一緒にもちたいと考へ
ますので、当日、会場での掲示に御注意下さい。

2) 4月6日 10:30~13:00

極地研 3階 講義室で 極地地形研究会を開く
予定です。南極露岩地域の地形序図について(平川
一臣)、南極での風化作用(松岡寛知)、セルロンダネ

調査計画(岩田勝二・森脇 肇)などの発表が
予定されています。多数の参加を希望いたします。

3月例会・巡検のお願い

2月の例会は都合により中止。かたして3月に例会と巡検をあわせて行ないたいと思います。ご了承を御希下下さい。

- 3月17日(土)～18日(日)
- 巡検：荒川の河岸段丘
- 案内者：吉永秀一郎(都立大)
- テーマ：秩父盆地とその周辺にみられる荒川の
fillup 段丘の成因。

参考文献：吉永・宇詩(1983), 地理学, 23, 20-21

- コース：詳細は未定ですが、三峰口～影森～秩父～長溝の各地点で見学する予定です。宿泊は秩父市内かまたは武川白野周辺。
- 費用：宿泊 4,000円、交通費 3,000円くらい。(車がある方が安く済みます)
- 申込：3月17日1時に秩父に集合することを考えていますが、詳しくは参加者の確定してから決めたいと思います。なるべく車を使いたいのを、車で集まる人は、申込みのときにその旨、明記して下さい。
- 申込み：3月3日までに、事務局まで申込みが下されい。例会だけの参加も可能です。
- コース、宿泊地についてののお知らせは、参加申込者に対しては3月上旬、通知いたします。